

経営協議会学外委員からの意見に係る取組事例（平成24年度）

意見の概要	主な取組事例
<ul style="list-style-type: none"> ○ 大学の予算・決算の仕組み等が非常に難しく、理解しがたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 予算・決算の仕組みを含め、九州大学における各種取り組みの一部を財務の視点でまとめた「九州大学財務レポート」を作成しているが、より理解しやすいものとなるよう、毎年度検討し、工夫を重ねて作成している。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 結果ではなく、プロセスを大事にするような教育を考えなければならない。 ○ 知識を教えるより、企業に採用になった時に自分で勉強する、そういう人材を育てることが重要である。考え方、問題解決の方法等を学ぶことが大事であると思う。 ○ 学び方を学ぶ、そういう教育を大学で行っていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成26年4月から基幹教育院において行う、生涯にわたって自律的に学び続けるアクティブ・ラーナーとしての「学び方を学ぶ」「考え方を学ぶ」ための姿勢と態度を育成する営みである「基幹教育」の開始に向けて、教員体制の整備、カリキュラム内容等を検討しつつ、準備を進めている。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 私立大学では小中一貫教育制度といったような一貫教育を行っているが、国立大学では行わないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大学受験的なことではなく、本当に大事なことを学ばせることができ、人材育成もできる。国立大学も対応できる部分があるのではないかと思う。 ○ 大学側から高校に様々な形で出向いていくなど、高校と大学の接続をスムーズにしていることを考えた方がよいのではないかという視点から、福岡県教育委員会と共同でシンポジウム「新たな未来を築くための人材育成と教育の接続」を開催（H24.12.8）し、小・中・高等学校及び大学の教育関係者が一堂に会し、専門的・実践的知見を交流する中で、相互の理解を深めるとともに、グローバル時代の人材の育成等、新たな未来を築くための教育の実践について研究協議を行った。